

事業番号	11 04 03	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	住宅宅地関連事業費				担当課	部局	建設部		
						課・局・室	道路建設課		
総合5か年計画	プロジェクト	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 2 暮らしを支える道路網の整備				E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	施策展開	5-3 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり			実施期間	H17 ~ H31			
		4-(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築 (ア) 地域に必要なサービス・交流機能の確保							

1 事業の概要

目指す姿	県民の安全・安心の暮らしと産業・経済活動を支える幹線道路網や身近な生活道路の整備のうち、住宅宅地整備に関連する道路の整備を進め、活力ある地域社会を創る。 成果目標：飯田市 丸山羽場地区における区画整理等の住宅宅地整備と合わせ、当該地区の高速交通アクセス性を向上させるため、当該地区と飯田ICを直結する県道飯島飯田線（都市計画道路羽場大瀬木線）の道路事業の未改良区間L=660mを全区間開通する。			
現状（予算編成時）	○県内の道路延長は全国第5位であるのに対して道路改良率は全国35位 65.6%(H23.4.1現在)であり、地域の暮らしを支える道路の整備が遅れている。 ○幹線道路及び生活道路の整備に対する県民ニーズは非常に高い。			
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】		
	県民との協働による実施：実施は困難	道路法により、指定区間以外の国道及び県道の整備は県が実施するものとされている。 (道路法12条、13条、15条、42条)		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	○飯田市 丸山羽場地区における区画整理等の住宅宅地整備と合わせ、当該地区の高速交通アクセス性を向上させることを目的に、当該地区と飯田ICを結ぶ県道飯島飯田線（都市計画道路羽場大瀬木線）の道路事業の未改良区間を全区間開通するため、平成28年度は、前年度契約したトンネル工事の進捗を図る。					
	② 事業内容 (単位：千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)
道路改築事業	直接	事業実施:1箇所	360,000	513,564	765,000	
			合計	360,000	513,564	765,000

事業コスト	区分(単位：千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	79,242	183,237	5,811	項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
	当初予算	350,000	360,000	765,000				目標	成果		達成状況
	補正予算		-23,862		丸山羽場地区～飯田IC間の未改良区間における工事	工事延長370m	取付道路工1箇所	トンネル工事1箇所の進捗	トンネル工事1箇所の進捗	達成	-
	合計(A)	429,242	519,375	770,811	国・県道の改良率	-	-	-	-	-	67.5%
	一般財源	24,351	11,982	39,905							
	県債	197,000	251,000	353,000							
	国庫支出金	207,891	256,393	377,906							
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	265,571	513,564								
概算人件費	1.73	1.73	1.73								
概算人件費(C)	-	-	-								
概算事業費(B(A)+C)	265,571	513,564	770,811								

目標に対する成果の状況	トンネル工事の進捗を図り、予定どおりの成果が得られた。
-------------	-----------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようになりたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」の主要施策「快適で暮らしやすいまちづくり」における主要な取組のひとつとして、平成31年度までの全区間開通を目指し整備を進める。
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------